

「丸の内北口通信」

林 明夫

発行のごあいさつ

- (1) この何年間か、東京駅丸の内北口に降り立ち様々な勉強の機会を得ることが多い。皆様がものごとをお考えになるときのヒントやきっかけになればうれしいとの思いで、「丸の内北口」を中心に、日本や世界の「あちこちで」私が考えたことを短くまとめ、ご報告させて頂く。
- (2) 慶應義塾大学 3、4 年生のときに刑事政策のゼミでご指導を頂いた宮沢浩一先生は、ドイツの犯罪学の文献をお集めになり研究活動をなさっておられる。その際、「ただ集めるだけでは能がない」と思い、個々の文献の内容について 10 行程度のコメントを加えるアイデアを思いついた（法学研究第 77 巻 4 号 154 ページ、2004 年 4 月）とのお考えのもと、お読みになった文献にコメントを加える作業をされておられる。
- (3) 宮沢先生には遠く及ばないかも知れないが、基本的な考えだけは参考にさせて頂き、この「丸の内北口通信」をスタートさせて頂く。